

研究機関：広島大学

研究課題名	てんかん患者の発作予測モデル作成のための探索的研究：気候変化の影響に関する検討
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科脳神経内科学 教授 丸山 博文
研究期間	2021年8月23日(倫理委員会承認後)～ 2024年 3月31日
対象者	2018年1月1日～2020年12月31日の間に、広島大学病院に、てんかん発作のため緊急入院をされた成人患者さん。
意義・目的	てんかんは、てんかん発作を反復して生じる慢性疾患で、小児だけでなく成人、高齢者においても重要な疾患です。とりわけ、成人の患者さんにおいては社会的影響も大きく、疾病に対する理解、誘因の除去、適切な内服の維持によって自律的に発作をコントロールすることが重要です。一方で、患者さんにとって生活上避け得ない環境因子として気候があります。気候の変化は生活上避け得ない環境要因ですが、てんかん発作が起きやすい条件を気候条件から予測することで、患者さんの発作頻度低下の一助になるべく、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。カルテから使用する内容は年齢、入院日、入院契機病名です。（個人を特定可能な情報は解析に用いません） 収集したデータは、広島市消防局において「てんかん」および「けいれん」のため救急搬送された成人患者さんのデータおよび気象データとあわせて解析します。
情報提供機関	広島市消防局 警防部救急課
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科脳神経内科学 教授 丸山 博文
個人情報の保護について	調査内容は、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel：082-257-5201 広島大学大学院 医系科学研究科脳神経内科学 大学院生 山田 英忠 広島大学病院 脳神経内科 助教 音成 秀一郎